

イカル（アトリ科） 19センチ

4月11日、神宮寺岳の麓を散策中、高木の梢で数羽の小鳥がたむろしていた。

双眼鏡で確認すると、クチバシが黄色くて太い可愛いらしい鳥です。あまり見ることがないイカルだ。最初は4～5羽であったが次々と仲間が集まり、数分後には20羽ほどに増えていた。枝から枝へちょこちょこ移動するので、正確に数えることができません。

背景が曇り空の逆光で、撮影はいい色が出せません。何とかいい位置に移動してくれないかと、我慢比べが続きます。暫くしたら数羽のイカルが地上に降りてきた。クチバシを草むらに差し込み餌を探し始めると、次々と10羽ほどに増えた。距離も近く、こんなチャンスは中々ありません。



梢で見つけた。

何かのきっかけで地上から一斉に飛び立つと、再び梢に移動して賑やかなさえずりが始まった。

鳴き声は、オキクニジュウシ（お菊二十四）等と聞きなしされているが、確かにそのように聞こえます。観察中、仲間の一人が「あっチョコボールだ！」と叫んだ。そういえば昔、駄菓子にそういうのがあったな～。



地上に降り餌を探し始めた。



ずんぐりとした体形と黄色いクチバシ。

後日スーパーで菓子類を探したら、森永製菓の箱に黄色く太いくちばしのキャラクターの絵があった。確かに似ていることから、一気に親しみが増してきた。



正面から見るとクチバシが大きく見える。



小枝を食いちぎると、くわえたまま何処かへ飛んで行った。もしかして巣材か？

